

SPIDERPLUS連携 操作マニュアル

2021年8月

株式会社ダイテック

目次

1.風量測定

- (1)風量測定連携ファイル出力
- (2)風量測定連携ファイル読込 <PC>
- (3)風量測定データの活用 <iPad>

2.電子小黑板機能

- (1)通り芯連携ファイル出力
- (2)通り芯連携ファイル読込 <PC>
- (3)通り芯情報の活用 <iPad>

3.撮影ポイントの利用

- (1)撮影位置連携ファイル出力
- (2)撮影位置連携ファイル読込 <PC>
- (3)写真登録 <PC>

1.風量測定

概要

Tfas図面から制気口・排煙口の位置情報を出力することで、測定ポイントとしてそのまま風量測定に利用することができます。

CADWe' II Tfas

(1)風量測定連携ファイルの出力

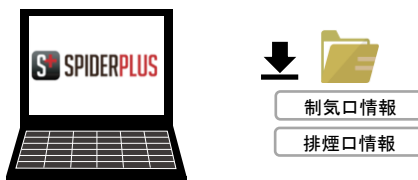
CADWe' II Tfasで風量測定連携ファイルを出力します。



SPIDERPLUS

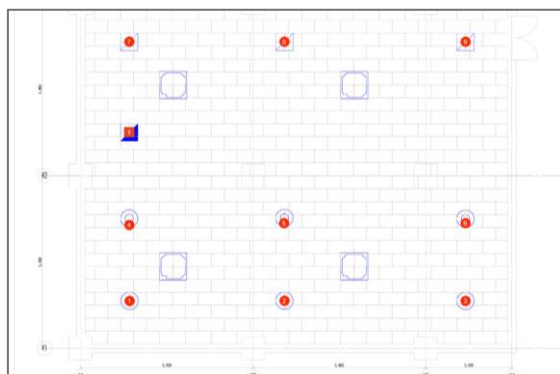
(2)風量測定連携ファイルの読込 <PC>

SPIDERPLUSで風量測定連携ファイルを読み込みます。



(3)風量測定データの活用 <iPad>

制気口、排煙口位置出力イメージ



機器との連携イメージ

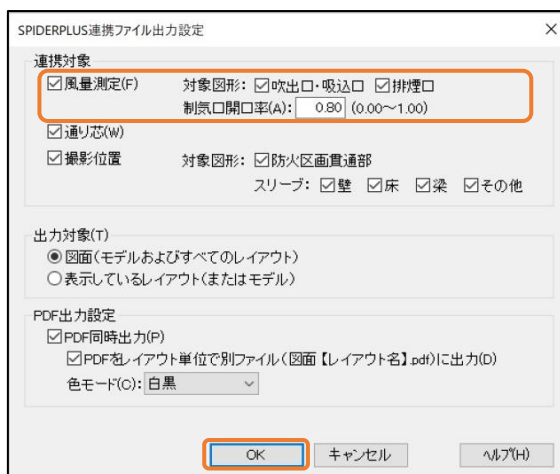


1.風量測定

CADWe' II Tfasによる操作

(1)風量測定連携ファイル出力

- ① メニューバーの[ツール]-[SPIDERPLUS連携]-[連携ファイル出力] をクリックします。
- ② [連携対象]の[風量測定]にチェックを入れ、<OK>ボタンをクリックします。



連携対象 – 風量測定

チェックボックスをオンにした場合、風量測定連携ファイルに吹き出口・吸込口と排煙口の情報が出力されます。

PDF出力設定

チェックボックスをオンにした場合、PDFファイルを同時に出力します。

- ③ [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

保存場所を指定すると、SPIDERPLUS連携ファイルが出力されます。(拡張子:.Tfas2SpiderPlus)


1.風量測定

SPIDERPLUSによる操作

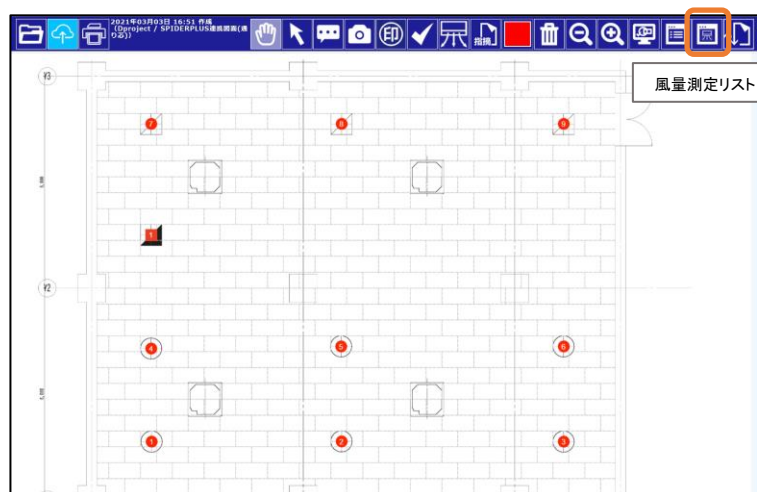
(2)風量測定連携ファイル読込 <PC>

① (1)と同じTfas図面をSPIDERPLUSに登録し、図面を開きます。



② [風量測定リスト]アイコン  をクリックします。

※個人フォルダに登録した図面では風量測定リストアイコンが表示されません。



③ ダイアログ[風量測定一覧]が表示されますので、[CAD連携入出力]をクリックします。

風量測定一覧

判定値

- 10 ~ 20 %

更新

CAD連携入出力

制気口

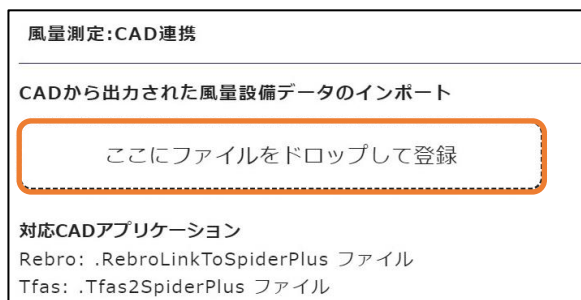
VAV

空調機

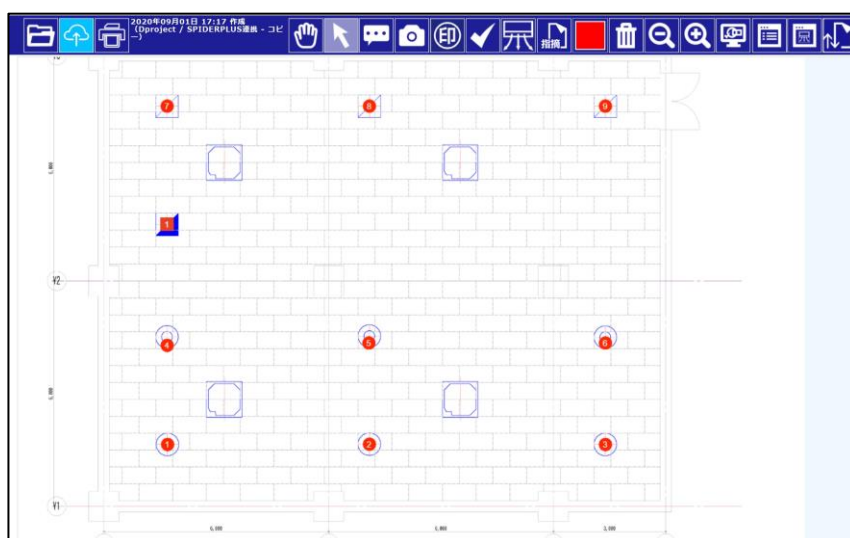
	階	場所	系統	型式	幅	高さ	開口率	設計風量(m3/h)
1								
2								


1.風量測定

- ④ (1)で出力した風量測定連携ファイルをドロップして登録します。



- ⑤ Tfasから出力した制気口、排煙口の位置にアイコンが自動で設置されます。



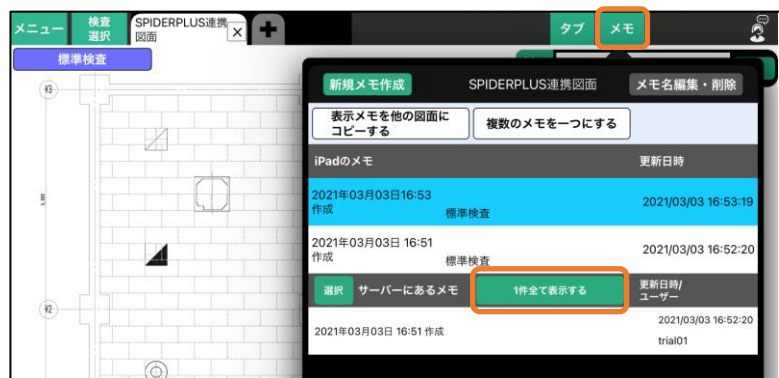
- ⑥ アイコン[保存]  をクリックし、<登録>を選択します。



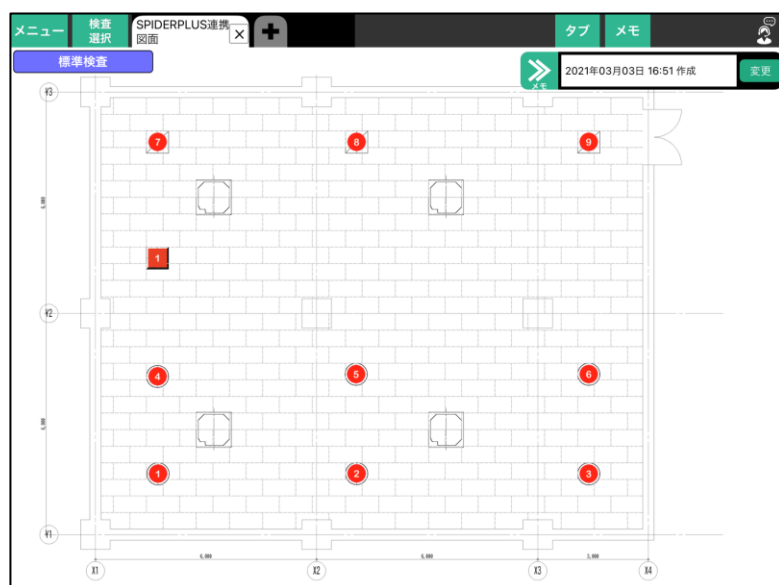
1.風量測定

(3)風量測定データ取り込み <iPad>

- ① iPadのBluetoothを[ON]にします。
- ② 図面を開き、画面右上の[メモ]をタップします。
- ③ [1件全て表示する]をタップし、パソコン側でサーバー登録したメモをタップします。



- ④ iPad上にメモがダウンロードされ、アイコンが表示されます。



- ⑤ 図面上のアイコンをタップします。
- ⑥ パソコン側で登録した情報が表示されるので、[基本情報]から[測定]へ切り替えます。
- ⑦ 機器の電源をONにすると、そのまま測定して情報を加えることが可能です。

※機器によっては別途アプリのインストールが必要になります。

2.電子小黑板機能

概要

Tfasから通り芯情報を出力して、電子小黒板に利用することができます。
通り芯情報が入っていることによりどの写真か一目で分かります。

CADWe' II Tfas

(1)通り芯連携ファイル出力

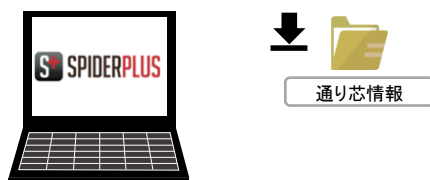
CADWe' II Tfasで通り芯情報ファイルを出力します。



SPIDERPLUS

(2)通り芯連携ファイル読込 <PC>

SPIDERPLUSで通り芯情報ファイルを読み込みます。



(3)通り芯情報の活用 <iPad>

黒板撮影時イメージ図

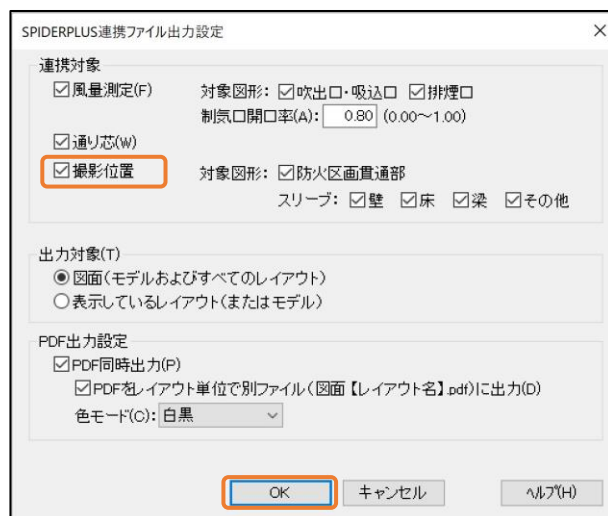


2.電子小黒板機能

CADWe' II Tfasによる操作

(1)通り芯連携ファイル出力

- ① メニューバーの[ツール]-[SPIDERPLUS連携]-[連携ファイル出力]を選択します。
- ② [連携対象]の[通り芯]にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



連携対象 – 通り芯

チェックボックスをオンにした場合、通り芯連携ファイルが出力されます。

PDF出力設定

チェックボックスをオンにした場合、PDFファイルを同時に出力します。


- ③ ダイアログ[名前を付けて保存]が表示されます。

保存場所を指定すると、通り芯連携ファイルが出力されます。(拡張子:.Tfas2SpiderPlus)

2.電子小黒板機能

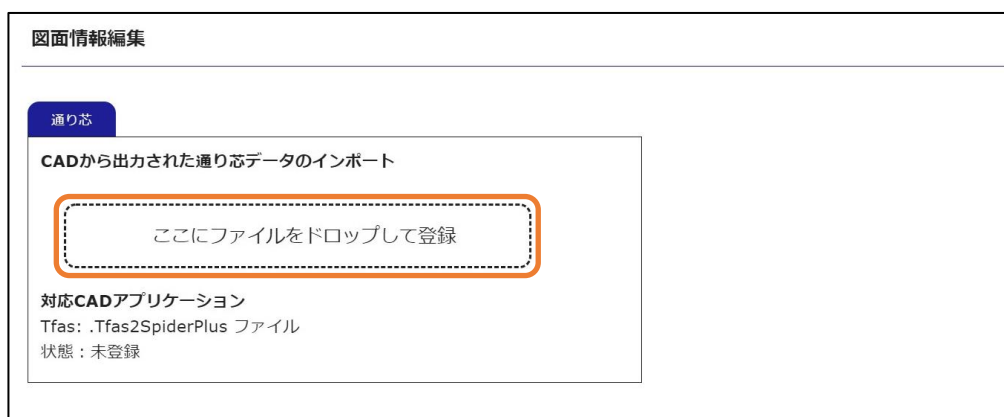
SPIDERPLUSによる操作

(2)通り芯連携ファイル読み込み <PC>

- ① 図面一覧に表示されている図面の右下のアイコン  をクリックします。



- ② (1)で出力したファイルをドロップして登録します。



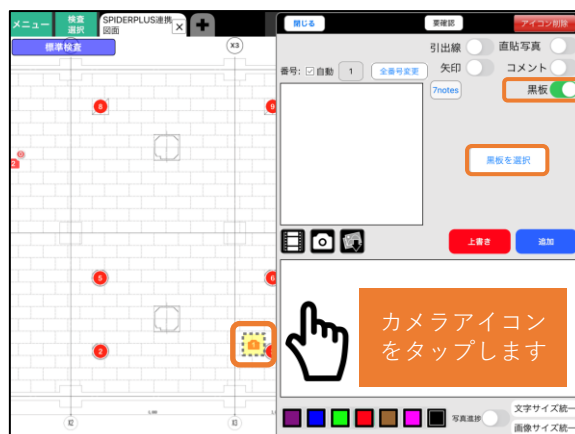
(3)通り芯情報の活用 <iPad>

- ① iPadで対象の図面を開きます。
② アイコン[カメラ]を選択し、[アイコン設置のみ]を選択します。




2.電子小黑板機能

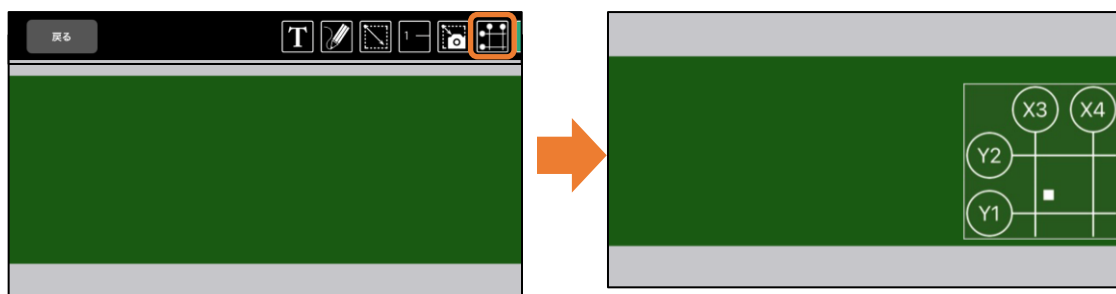
- ③ 通り芯で位置情報を確認したいポイントに手でカメラアイコンを設置します。
- ④ 図面上に設置したカメラのアイコンをタップします。
- ⑤ [黑板]にチェックを入れ、[黑板を選択]をタップします。



- ⑥ 黑板一覧の中から任意の黑板を選択し、黑板上をタップします。

現場名	Dproject
工事場所	
 黑板上をタップします	
施工者	
この黑板を使用 黑板一覧から選択	

- ⑦ アイコン[通り芯]  をタップすると、通り芯画像が自動で作成されます。



- ⑧ 画面右上の[保存]-[上書き保存]をタップします。[この黑板を使用]をタップし、画面を閉じます。

※アイコンの位置を変更したい場合は、再度アイコンを設置し直す必要があります。
(アイコンを移動するだけでは通り芯情報は自動で切り替わりません。)

2.電子小黒板機能

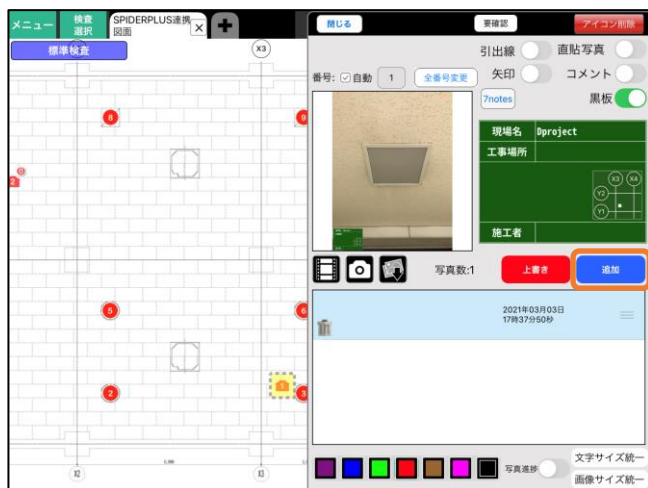
(4)写真追加

- ① アイコン[カメラ]を選択し、iPadのカメラを起動します。
- ② [黒板を表示]をタップすると、黒板を表示した状態で写真を撮ることが出来ます。



- ③ [追加]で登録完了です。

通り芯情報があることでどの位置で撮った写真か一目で確認できます。



3.撮影ポイントの利用

概要

防火区画貫通部とスリーブの位置情報を自動出力して撮影ポイントに利用することができます。
そのまま写真を撮影し、登録することも可能です。

CADWe' II Tfas

(1)撮影位置連携ファイル出力

CADWe' II Tfasで撮影位置連携ファイルを出力します。



防火区画貫通部位置情報

スリーブ位置情報

SPIDERPLUS

(2)撮影位置連携ファイル読込 <PC>

SPIDERPLUSで撮影位置連携ファイルを読み込みます。

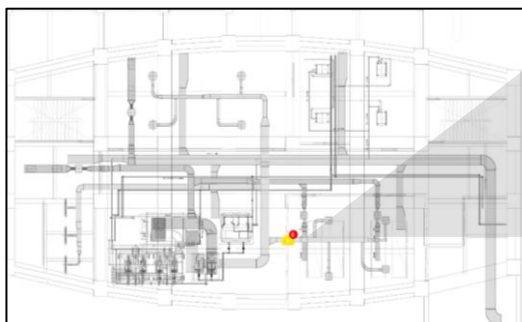


防火区画貫通部位置情報

スリーブ位置情報

(3)撮影ポイントの利用 <PC>

撮影ポイントイメージ



写真登録

360°写真		標準写真リスト	
		<input checked="" type="checkbox"/> 看板	project
		工事作名	
		撮影月日	
		撮影場所	
		施工者	株式会社スパイダープラス 立会者
撮影日時: 2021-03-19 18:46:11			

3.撮影ポイントの利用

CADWe' II Tfasによる操作

(1)撮影位置連携ファイル出力

※ファイルを出力するには、事前に図面上に防火区画貫通部とスリーブが作図されている必要があります。防火区画貫通部の作図については、15ページをご覧ください。

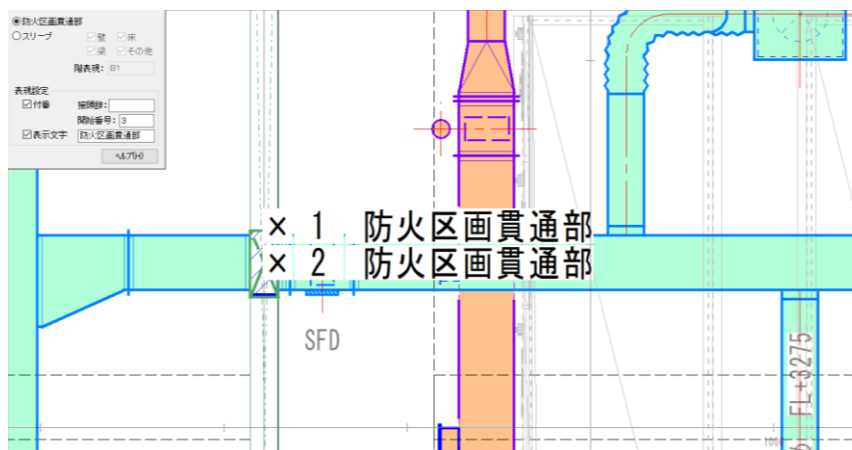
① 防火区画貫通部の位置を出力します。

メニューバーの[ツール] - [SPIDERPLUS連携] - [撮影位置自動配置]をクリックします。

② 右記ダイアログで[防火区画貫通部]にチェックを入れます

③ 防火区画貫通部の対象範囲を対角2点で指定します。

防火区画貫通部撮影位置の傍記が防火区画貫通部と管の交点に自動配置されます。



※ 一つの防火区画貫通部を複数の管が交差している場合、

防火区画貫通部撮影位置が重ならないようにずれて配置されます。

※[撮影位置手動配置]では、撮影ポイントを配置する位置を任意の位置に設定できます。

3.撮影ポイントの利用

- ④ 同様にしてスリーブ位置も出力します。

右記ダイアログで[スリーブ]にチェックを入れます。

※[壁]、[床]、[梁]、[その他]のチェックボックスがオンになっている箇所を貫通しているスリーブの位置に配置します。

☐ 防火区画貫通部

☒ スリーブ

☒ 壁

☒ 床

☒ 梁

☒ その他

階表現:

表現設定

☒ 付番

接頭辞:

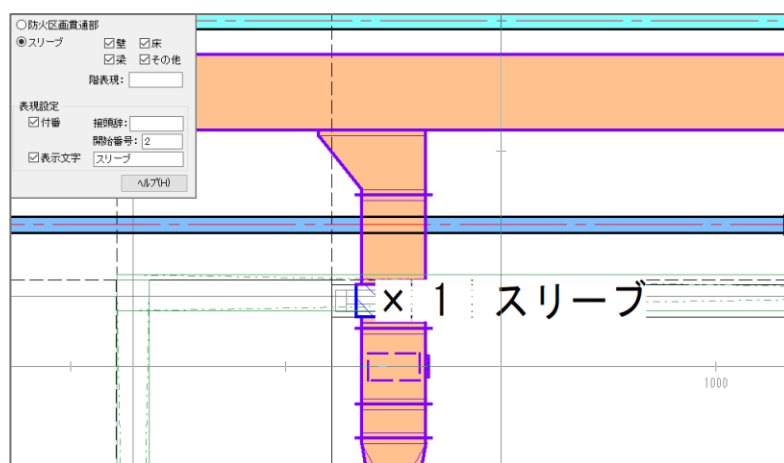
☒ 表示文字

開始番号: 1

スリーブ

- ⑤ スリーブの対象範囲を対角2点で指定します。

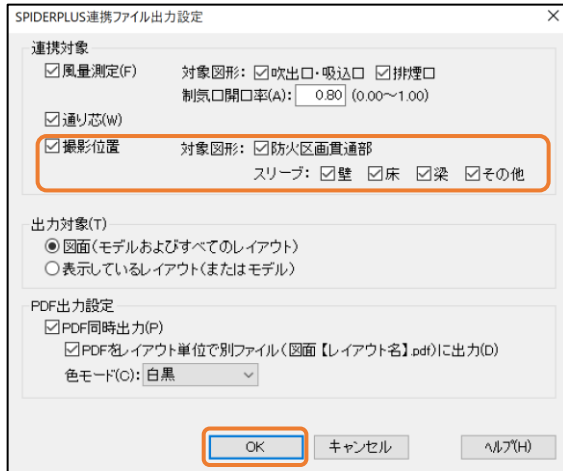
スリーブ撮影位置の傍記がスリーブと管の交点に自動配置されます。



3.撮影ポイントの利用

- ⑤ [ツール]メニューの[SpiderPlus連携]–[連携ファイル出力]を選択します。

撮影位置の防火区画貫通部とスリーブにチェックを入れて[OK]をクリックします。



連携対象 – 撮影位置

チェックボックスをオンにした場合、撮影位置連携ファイルが出力されます。

PDF出力設定

チェックボックスをオンにした場合、PDFファイルを同時に出力します。

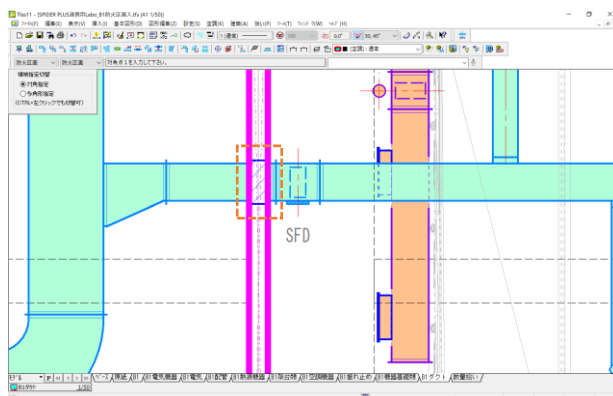
- ⑥ [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

保存場所を指定すると、撮影位置連携ファイルが出力されます。(拡張子:.Tfas2SpiderPlus)

◎ヒント

防火区画貫通部の作図

- ① メニューバーの[拾い] – [拾い属性付加] – [防火区画貫通部]をクリックします。
- ② 防火区画貫通部を設定する範囲を対角または多角形で指定します。



※ 防火区画貫通部の範囲を指定する際に、部屋全体を囲ってしまうと部屋内のすべてのダクトの厚が変わってしまいます。防火区画の境目の壁のみを囲う必要があります。

3.撮影ポイントの利用

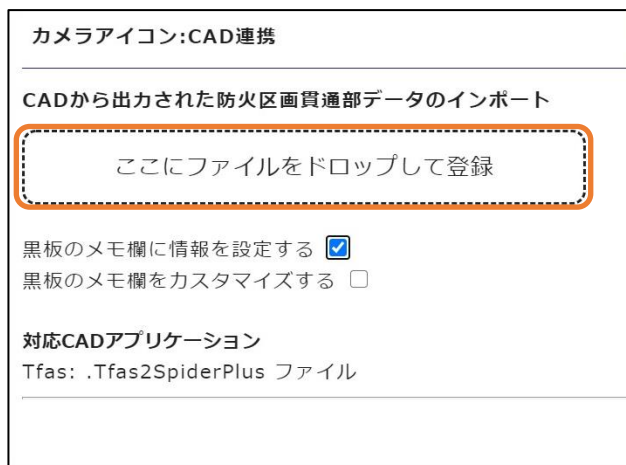
SPIDERPLUSによる操作

(2) 撮影位置連携ファイル読込 <PC>

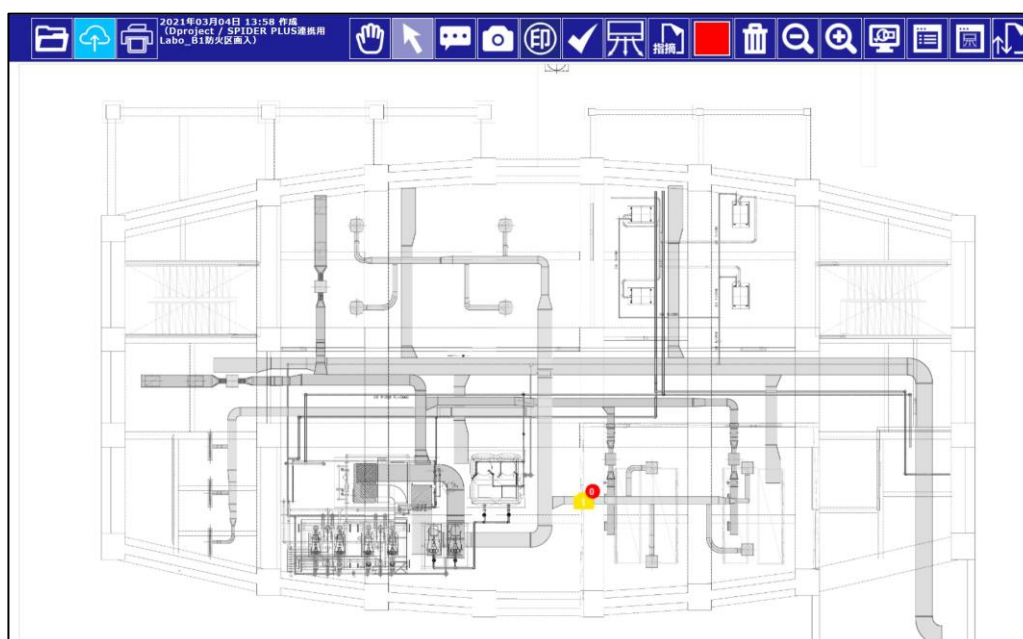
- ① SPIDERPLUSで図面を開き、アイコン[CAD連携ファイルへ出力]を選択します。



- ② (1)で出力したTfasファイルをドロップして登録します。



- ③ 図面上にアイコンが自動で設置されます。




3.撮影ポイントの利用

(3) 写真登録 <PC>

- ① (2)で設置したカメラのアイコンをタップします。
- ② 写真をドロップして写真リストを作成します。



- ③ アイコン[保存]  をクリックし、<登録>を選択します。